

2020年7月21日
日本貨物鉄道株式会社

令和2年7月豪雨に伴う貨物列車への影響について (7月21日18時現在)

令和2年7月豪雨による災害の影響により、下記のとおり貨物列車の運転を見合わせていますが、一部の区間について運転再開の見込みとなりましたのでお知らせします。

(下線部が、前回リリース(7月17日15時現在)から更新した内容となります。)

1. 貨物列車の運転中止区間(別紙参照)

- ・鹿児島線・肥薩おれんじ鉄道線 鳥栖貨物ターミナル駅～鹿児島貨物ターミナル駅間
(1日あたりの貨物列車の運転本数 12本(6往復))

鳥栖貨物ターミナル駅～熊本駅 (8月3日運転再開予定)

熊本駅～鹿児島貨物ターミナル駅 (肥薩おれんじ鉄道線の復旧の見込みがたつておらず、運転再開の見込みはたつていません。)

鹿児島線の運転再開予定は別紙のとおりです。

2. 代行輸送の実施について

7日より運転中止区間においてトラックによる代行輸送を実施しています。

20日以降は、以下の代行輸送を実施しています(月曜～土曜)。

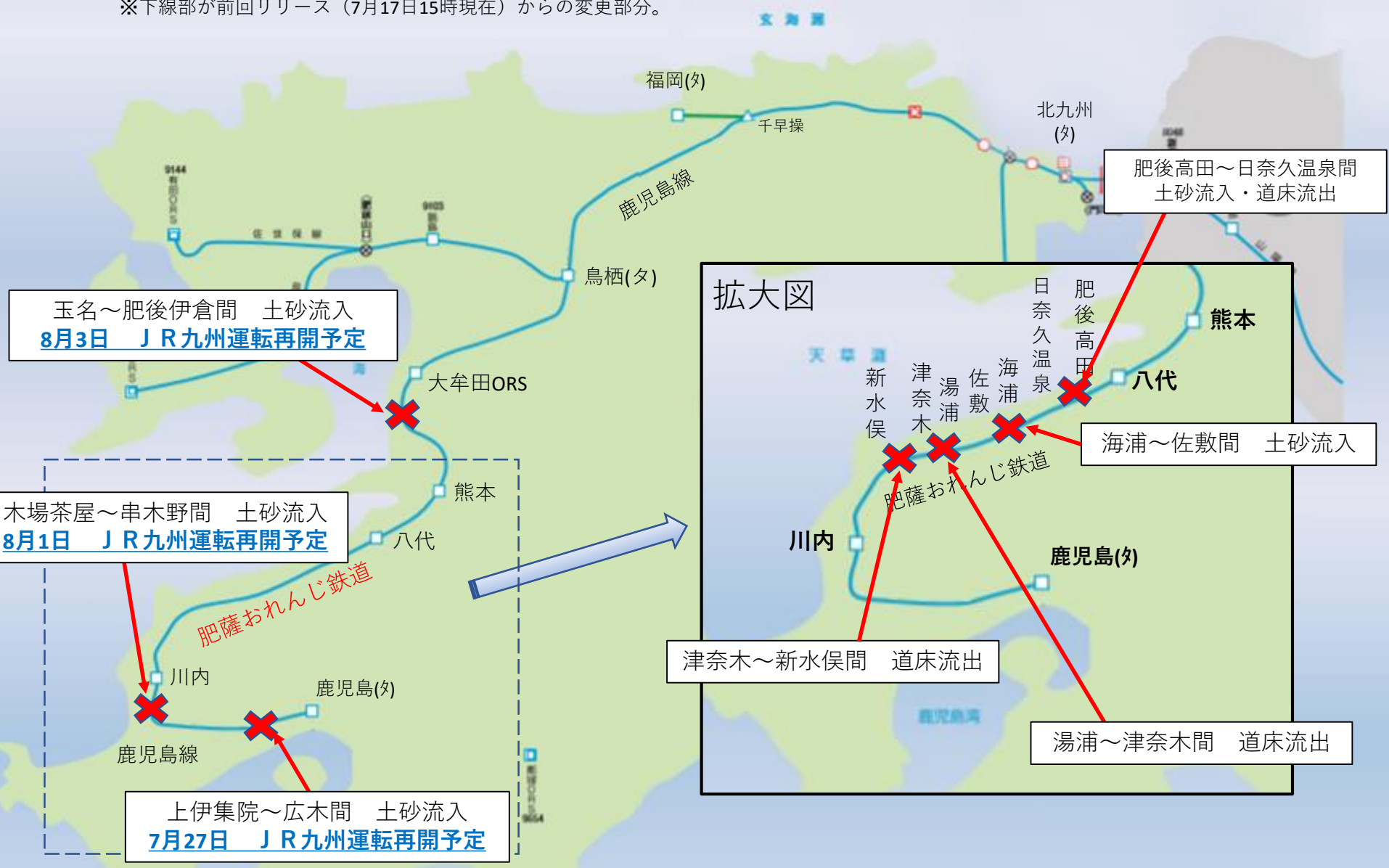
- (1) 北九州貨物ターミナル駅～熊本駅・八代駅間 150個程度/日
- (2) 福岡貨物ターミナル駅～鹿児島貨物ターミナル駅・川内駅間 110個程度/日

※鳥栖貨物ターミナル駅～熊本駅間運転再開(8月3日)後は、熊本駅～鹿児島貨物ターミナル駅・川内駅間で代行輸送を実施予定です。詳細が決定次第、お知らせします。

【2020年7月21日18時現在】令和2年7月豪雨に伴う貨物列車の運転区間における主な被害状況

別紙

※下線部が前回リリース（7月17日15時現在）からの変更部分。



※鹿兒島線の運転再開はJR九州プレス（7月21日付）によります。
※(夕)は、貨物ターミナル駅の略